

## 《今日の名言》

幸せを数えたら、あなたはすぐ幸せになれる。

アルトウール・ショーペンハウアー

## まちのできごと

## チヤレンジ!!2023

## 藤里町少年教室開校式

藤里町少年教室の開校式が7月21日に町民体育館で開催されました。

開校式には86名の参加申込みがあり、参加した児童・生徒たちは講師の話をしっかりと聞いていました。

今年度の少年教室は、上若コースに13名、志茂若コースに17名、高山太鼓コースに8名、壮士舞コースに2名、将棋コースに7名、切り絵コースに24名、茶道コースに4名、陶芸コースに12名、自然コースに8名、料理コースに15名、合気道コースに3名、手作りコースに15名の児童生徒が受講します。



開校式の様子

## 能代市山本郡

7月25日、総合開発センター2階大ホール

## 学校給食研究集会

10月29日（日）に開催予定の町民祭で作品展示や芸能発表を行い、受講の成果をお披露目する予定です。

7月27日、総合開発センターにおいて、藤里町社会福祉協議会（菊池まゆみ会長）による第47回藤里町社会福祉大会が開催され、約180名の関係者、町民らが「福祉でまちづくり」のメインテーマのもと、「安心と活躍のあるまち」の実現を誓いました。

本大会では、藤里町社会福祉協議会会長による社会福祉功績者への表彰や感謝状の贈呈が行われた後、佐々木町長など来賓よりあいさつが述べられました。続いての「まち自慢トーク」では、新



まち自慢トークの様子  
(左：宮野洋平さん 中央：山田芳子さん 右：佐藤咲起子さん)

ルにおいて、令和5年度能代市山本郡学校給食研究集会が開催されました。能代市山本郡学校給食協議会が主催したこの会では、「心身ともに健康な児童生徒の育成をめざす学校給食のあり方」という主題のもと、元祖檜山納豆株式会社代表取締役の西村省一氏による「檜山納豆の歴史」という演題での講演や、三種町学校給食協同調理場での実践発表が行われました。



西村省一氏による講演

その後に行われた藤里学園6年生の小山聖來さん、9年生の荒川忠聖さんの体験発表では、「福祉」とは、おじいさん、おばあさんや、障がいのある方々のためのものというわけではなく、私たち一人一人にも、とても関わりが深いものであると分かった。「小さなことでも、少しでも「福祉」につながるのであれば、助け合いとして、これからも続けていきたい」と発表があり、参加者は思い思いで耳を傾けていました。

川泰道さん（荒町）の進行のもと、宮野洋平さん（愛宕第二）、山田芳子さん（下町）、佐藤咲起子さん（川反町）が自身の藤里町での生活やプラチナバンクについて語りました。